



## IPPNW(核戦争防止国際医師会議)コーナー JPPNW(IPPNW日本支部)作業部会

平成19年11月5日(月)午後6時半より広島医師会館にてJPPNW作業部会が開催された。出席者は18名(うち医学生5名、事務局職員3名)。冒頭、碓井静照JPPNW支部長の挨拶の後、次第に沿って報告・協議が行われた。

以下、概要を記す。

### 1)モンゴルでの第6回 IPPNW北アジア地域会議について

ファイナル・ステートメントに基づき柳田実郎JPPNW理事(国際副評議員)より報告(詳細は広島県医師会速報に掲載済み)が行われた。碓井JPPNW支部長より補足として、著書「シアトルからの手紙」でモンゴル事情に触れている旨が述べられた。

### 2)IPPNWの現況について

コスタリカとマレーシアが国連総会に共同提案しようとしているモデル核兵器禁止条約について、各国政府に支援をお願いする旨の連絡が本部から入っている。日本には米軍基地や使用済み核燃料の再処理などの問題がある。しかし、多数をもってこの条約が国連総会を通過すれば、核兵器禁止に向けたはずみがつくと思われ、注目すべきである。

IPPNW本部は11月よりEメールで世界のIPPNW支部の活動状況を配信し、運動への一層の支援を求めることにした。

ロンドン国際会議「核兵器：最後のパンデミック、拡散の防止と廃絶の達成」(10月3-4日)及び、IPPNW理事会(10月5-6日)について朝長万左男長崎県支部長(JPPNW副支部長・IPPNW全地域代表理事)より文書での報告があった。(11月25日号広島県医師会速報「IPPNWコーナー」掲載)

- ・ロンドン会議の参加者は約150名(うち約50名は英国)、朝長長崎県支部長は冒頭の基調講演を行った。
- ・全体を通して核被害に焦点をあてたディスカッションが多かった。
- ・IPPNW理事会の主な議題は直面している財政危機問題で、本部機能の縮小も検討中。
- ・ここ数年ロシア支部の衰退が懸念される。
- ・2010年第19回世界大会の開催地はロシア案

とスイス案で意見拮抗し、投票の結果、スイス(バーゼル市)となった。

### 3)バグウォッシュ会議(イタリア、10月21-26日)について

同会議は1955年のラッセル・アインシュタイン宣言に始まり、湯川秀樹博士は創立メンバーの一人で、物理学、哲学、社会学者等からなる核兵器廃絶を唱導する会議。1995年、ノーベル平和賞を受賞。今回、日本からは4名の科学者が招待され参加した(他にストックホルム大学より日本人教授1名)。

- ・片岡勝子JPPNW事務総長(IPPNW副会長)は、広島の核被害と北東アジア非核兵器地帯案について発表した。医師の参加が少なく、後障害についての知識があまりないという印象を受けた。バグウォッシュ日本委員会で広島・長崎への原爆投下に関する小冊子を作成することとした。IPPNWとして今後健康被害に関する情報提供を依頼された。
- ・核エネルギー使用については、賛成意見が多く、特に使用済み核燃料の再処理を多国間管理することにより核兵器への転用を防ぐという鈴木達治郎東京大学教授の講演が注目を集めた。
- ・同会議は、近い将来、広島での会議を希望している。(1995年、2005年に広島で世界大会を開催)

### 4)学生部からの報告

モンゴルでの北アジア地域学生会議について

- ・JPPNW学生代表の茅野さんは、当地域の学生が今後定期的に会うという意味固めができたことが大きな収穫だったと報告。(各学生参加者の詳細な報告は10月25日号県医師会速報「IPPNWコーナー」に掲載)

## MedExプログラムについて

- ・今夏の派遣学生(住田佳慶広大医学部5年)から文書による報告(11月15日号県医師会速報「IPPNWコーナー」掲載)があった。受入学生(ドイツ、ベルリン自由大学医学部5年、クラウディア・ヘーゲル)の活動については呉夢遥MINC部長が報告を行った。

## 5) 第18回IPPNW世界大会(インド・デリー、平成20年3月7-11日、学生大会3月7-8日)について

インド世界大会HP情報に基づいて大会概要、登録、ホテル等について柳田理事および片岡事務総長より説明があった。

- ・宿泊ホテルは治安等にかんがみて予約したほうがよい。学生にはYMCAユースホテルを大会本部がまとめて予約している。
- ・登録の早期締め切りは11月29日で、その後は登録料金が割高となる。(368米ドル420米ドル)
- ・北アジア地域としてのワークショップ「広島・長崎の負の遺産から北東アジア非核兵器地帯創設に向けて」がプログラム(3月10日)に組まれている。ワークショップ議長に碓井支部長、モデレーターに片岡事務総長、スピーカーには①「ヒロシマ・ナガサキの原爆被害と後障害」朝長長崎県支部長 ②「現在の都市における核被害の想定：広島を例にして」鎌田七男JPPNW理事 ③「各支部よりの報告」柳田理事(日本支部から) ④「北東アジア非核兵器地帯(案)」金子熊夫JPPNW特別顧問 という素案を大会本部に送付してある。
- ・補足説明：②については、国民保護法にもとづいて広島市では専門部会を設置しており、JPPNWからは鎌田理事と片岡事務総長が委員のメンバーである。部会長は葉佐井博巳広島大学名誉教授、他にはピースデ

ポの梅林宏道代表、立命館大学の安齋育郎教授らがメンバーである。報告書は10月末に広島市に提出された。取り扱いは広島市に一任されるものの、和文・英文を印刷物及びインターネットで広く世界に広報することを委員から要望し、広島市もその方向で検討されるということである。

## IPPNW役員改選について

- ・来年3月インド大会で行われる役員改選について、IPPNW各府県支部に立候補または推薦について依頼文書を送る。
- ・秋葉市長に3月9日開会式でのスピーチの依頼を行う。
- ・JPPNWも財政困窮の折(広島県医師会より300万円を借金)学生参加支援金を縮小する。
- ・広島2名、長崎2名、京都1名をJPPNWから支援し、それ以上の参加者がある場合はそれぞれの支部が支援金を負担し、人数が増えた場合には定額の支援金を頭数で割ることとする。

## 6) その他

- ・JPPNW移動理事会を平成19年2月9日(土)に岐阜県支部で開催予定。
- ・One Day in Hiroshima(鎌田七男著)は印刷した2,000部のうち約1,200部は贈呈、販売等ではけた。モンゴル、ロシア、フランス語への翻訳依頼があるが、具体的な話は進んでいない。(鎌田理事より文書報告)
- ・One Day in Hiroshimaを20部ほどJPPNWで購入し、重要な訪問者には適宜贈呈する。
- ・広島におけるIPPNW学生活動の母体である広大医学部MINCでは、先輩から後輩への活動の連携が薄いように思えるので強化を図ってほしい。(吉國晋元JPPNW医学生代表・小児科医師から)
- ・インド大会の広報を早急に行う。

# 第39回 広島医家芸術展

広島県医師会会員および家族、従業員による芸術展を次により開催いたします。

- と き** 平成19年12月4日(火)～9日(日) 午前9時～午後5時  
**と ころ** 広島県民文化ホール 地下1階 展示室  
**出品作品** 絵画・書・写真・彫刻・工芸など  
**問 合 先** 広島県医師会広報課 TEL 082 232 7211

## &lt; 次 第 &gt;

## 1. 開 会

## 2. 出席者紹介

## 3. 報告・協議事項

- 1) 第6回IPPNW北アジア地域会議について  
(モンゴル・ウランバートル、6月21日～22日)
- 2) IPPNWの現況について
  - ① ロンドン国際会議「核兵器：最後のパンデミック、拡散の防止と廃絶の達成」  
(ロンドン、10月3日～4日)
  - ② IPPNW理事会について(ロンドン、10月5日～6日)
- 3) パグウッシュ会議について(イタリア・バリ、10月21日～26日)
- 4) 学生部からの報告
  - ① 北アジア地域学生会議について
  - ② MedExプログラムについて  
派遣：住田佳慶(広大医学部5年)  
受入：クラウディア・ヘーゲル(ベルリン自由大学医学部5年)
- 5) 第18回IPPNW世界大会について  
(インド・デリー、2008年3月9日(日)～11日(火))  
(理事会、学生会議：3月7日(金)～3月8日(土))
- 6) その他
  - ・平成18年度移動理事会について(岐阜県支部、2008年2月9日)
  - ・「広島のおばあちゃん英語版 One Day in Hiroshima - An Oral History」

## &lt; インターネット情報 &gt;

\* IPPNW全般(インド大会含む)について [www.ippnw.org](http://www.ippnw.org)

\* 北アジア地域会議等報告について

・ 広島県医師会速報 [www.hiroshima.med.or.jp](http://www.hiroshima.med.or.jp)

・ 広島市医師会だより [www.city.hiroshima.med.or.jp](http://www.city.hiroshima.med.or.jp)

## 第18回IPPNW(核戦争防止国際医師会議)世界大会(お知らせ)

日 時：2008年3月7日(金)～3月11日(火)

(学生大会・理事会・大会前夜祭：3月7日～8日 本大会：3月9日～11日)

会 場：V P House, Rafi Marg, New Delhi - 110001, India

(学生大会：New Delhi YMCA Tourist Hostel, 1, Jai Singh Road, New Delhi - 110001)

大会テーマ：平和・健康・開発

登録費：

	クレジットカード支払い		電 信 送 金	
	11月29日まで	11月29日以降	11月29日まで	11月29日以降
参 加 費	368米ドル	420米ドル	350米ドル	400米ドル
若 手 医 師	263米ドル	315米ドル	250米ドル	300米ドル
学 生	158米ドル	210米ドル	150米ドル	200米ドル
同 伴 者	126米ドル	179米ドル	120米ドル	170米ドル
夕 食 会	42米ドル	42米ドル	40米ドル	40米ドル

大会ウェブサイト：[www.ippnw2008.org](http://www.ippnw2008.org)(プログラム、登録用紙、宿泊ホテル等の詳細記載)

問い合わせ：広島県医師会事務局 電話：082 232 7211(内線535) ファクス：082 293 3363